

リーディングDXスクール事業【実践事例】

敦賀市立敦賀南小学校(福井県)

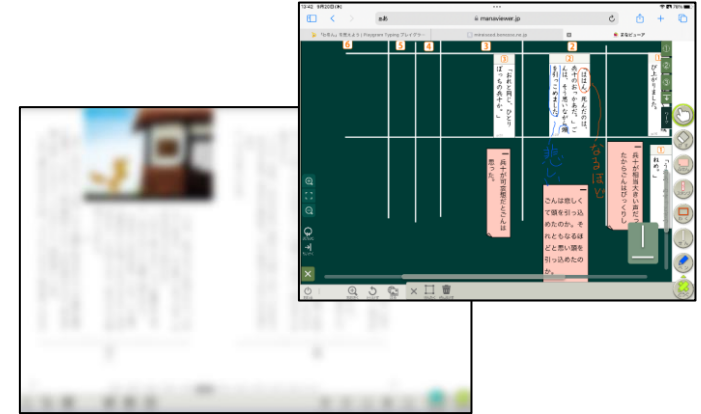
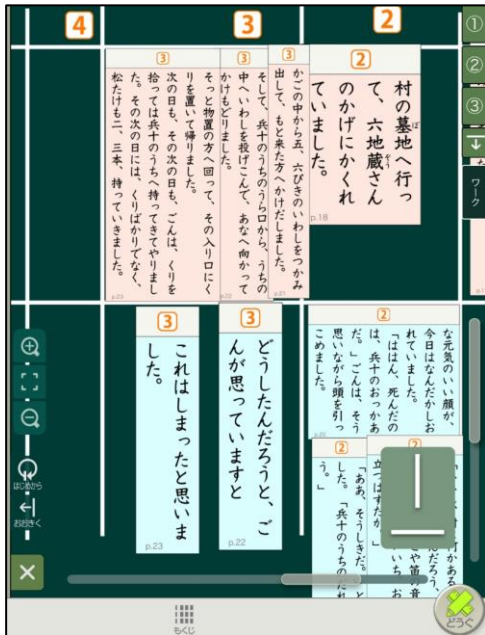
【取組内容①】 学習用デジタル教科書を使い、課題および学習方法を「自己選択」する自由進度学習

4年国語において、学習者が、3つの課題を「自己選択」し、学習者用デジタル教科書の機能を活用し、各自が学習方法を選択しながら、タブレット上で学習を進める〈自由進度学習〉に取り組んだ。

学習者用デジタル教科書の効果

学習者用デジタル教科書は、3年以上の国語において使えるようになっている。学習者用デジタル教科書は、①本文抜き出しツールにより、本文を簡単に引用できる ②抜き出した文章を表に整理し、視覚的に文章の比較ができる 等、これまで、本時のねらい以外の点で手間がかかっていたことを簡便にし、さらにカードの形で文章を比較しやすいことから、本時の目標に迫った学習を各自が主体的にすすめることができた。

学習者用デジタル教科書〈国語〉の本文抜き出しツールの画面



自由進度学習の様子



タブレットで自分と向き合う



「誰」「いつ」「何を」協働する子ども自身が「自己選択」

リーディングDXスクール事業【実践事例】

敦賀市立敦賀南小学校(福井県)

【取組内容①】 学習ガイドとJamboardにより、学習者が主体的に情報を整理しまとめる学習【3年国語】

3年国語科において、教師が配信した「学習ガイド」に基づき、Jamboardを使って、学習内容をまとめる授業を実施した。既習学習として、説明文の工夫をまとめた後、Jamboardを使って、個人で、調べたい素材を選び、作文を書くためのメモを整理した。

<学習ガイド>

児童に配信した学習ガイド

【学習問題】
自分で決めたゴールを達成しよう

【ゴール】
B: 「例の書き方」を2つ使って、分かりやすい文章の組み立てをつくらることができる。
A: 「例の書き方」を3つ以上使って、友達と助言し合いながら分かりやすい文章の組み立てをつくらることができる。

【流れ】

- 【前時の復習】**
「説明の工夫」には、どんなものがあっただろう？
- 【ゴールの設定】**
自分でゴールを設定しよう！
- 【自由学習】**
1人でも2人でも3人でも！ジャムでもワークシートでも！
ゴールがたっせいできるようながんばろう！
- 【交流活動】**
友達のスライドを見て、良いところや直したほうがよいところを見つけて助言し合おう！
- 【振り返り】**
今日の学習を振り返ろう！

児童が個人でまとめたJamboard

<p>このように魚のいろいろな食品になります。</p> <p>この他にもたくさん魚の食品があります。魚の使い道は無限大です。</p> <p>1人でやったけど最後まで終わった。</p>	<p>かまぼこ</p> <p>くんせい</p> <p>塩干し</p>	<p>写真</p> <p>食品</p> <p>おいしく食べるの</p>	<p>はじめ</p> <p>魚はいろいろな食品に姿を変えています</p> <p>魚はどの様な食品に姿を変えているのでしょうか。</p>	<p>①例の書き方を使って、分かりやすい文章の組み立てをつくらよう。</p>
<p>魚のすり身に食塩を加えて練り上げ、加熱して固める。</p> <p>しおずけにしたあと木を燃やしてその煙で焼す。</p> <p>内蔵を取り塩水につけ乾燥させると干物ができます。</p>	<p>付箋を貼り直ししながら構成を考える</p>	<p>写真</p> <p>食品</p>	<p>はじめ</p> <p>いもには、色々な食べ方の工夫があります。</p>	
<p>このように芋は工夫されて、色々な姿になって食べられているのです。</p> <p>とろろ</p> <p>ポテトチップス</p> <p>干し芋</p> <p>まずよく洗い、次に「包丁」ピーラーを使い、皮をむきます。最後におろし器を使ってすりおろします。</p> <p>まず、洗って皮をむきうすく切ったら、かんそうさせたら次に、あけて、味つけします。</p> <p>まずむしみます。次に、切って干しします。</p>	<p>終わり</p> <p>中</p>	<p>写真</p> <p>食品</p>	<p>はじめ</p> <p>いもには、色々な食べ方の工夫があります。</p>	<p>③例の①②について、分かりやすい文章の組み立てをつくらよう。</p>
<p>「文章」を付箋で整理することにより、自分の考えを「見える化」できる</p>	<p>終わ</p>	<p>写真</p> <p>食品</p>	<p>はじめ</p> <p>いもには、色々な食べ方の工夫があります。</p>	

教師が提示した「**学習ガイド**」を参照し、児童は自分で調べた素材について必要な内容をJamboardで整理した。従来のノートで整理するよりも、マトリックスの表に基づき、文章を「付箋」カードで貼り付けながらまとめることにより、「はじめ・中・終わり」の説明文の構成を意識した内容を整理できている。

3年生の発達段階を考慮し、フレームは教師がJamboard上に設定したものを配信した。児童は、自分が説明したい内容を段落毎に付箋で整理することにより、**文章をかたまりとして意識することができ、作文に苦手意識を持っている児童も積極的にメモづくりに取り組んでいた**。国語の説明文教材において、Jamboardで自分の考えを整理する活動は、学習への取り組み方や、**思考の整理において効果的**であることがわかった。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

敦賀市立敦賀南小学校(福井県)

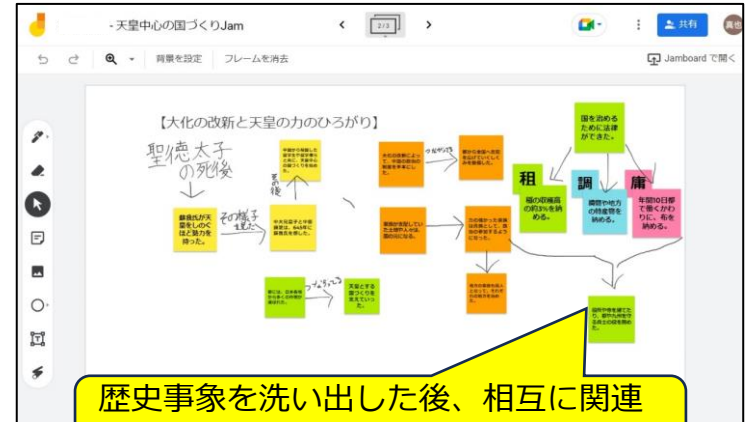
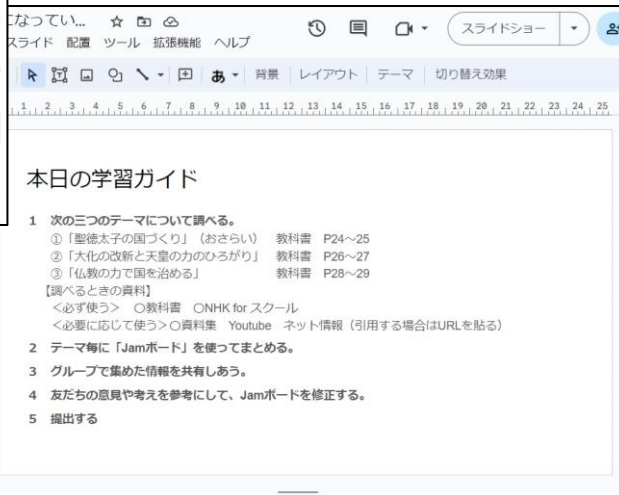
【取組内容①】 学習ガイドとJamboardにより、学習者が主体的に情報を整理しまとめる学習【6年社会】

6年社会科において、教師が配信した「学習ガイド」に基づき、Jamboardを使って、学習内容をまとめる授業を実施した。Jamboardは、班ごと（4名程度）内で、任意の児童が、Jamboardのオーナーになり、班のメンバーと共有するやり方をとっている。

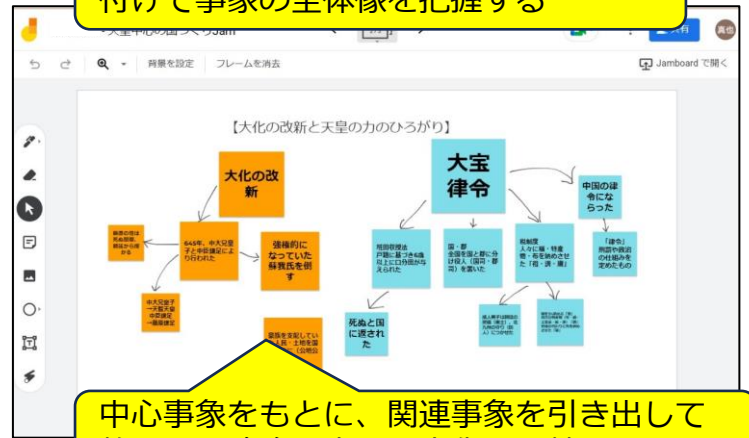
Classroomで配信

児童に配信した学習ガイド

児童が班ごとにまとめたJamboard



歴史事象を洗い出した後、相互に関連付けて事象の全体像を把握する



中心事象をもとに、関連事象を引き出して整理し、政治や生活の変化を比較する

教師が一齐に学習内容を指示するよりも、自分たちで「学習ガイド」を参照する方が、児童は主体的に学習に取り組むことはすでに明らかである。自分たちで学習の見通しを持ち、情報を集めるツールも自分たちで選ぶ。教師側は、最低限の情報源と、まとめるフレームを提示することにより、情報の偏りがないようにする。

また、Jamboardの設定も、児童自らが行うことにより、途中から班ごとに共有範囲を広げたり、他者の付箋を参照した後、再度話し合う場面も見られた。

個々において、どの程度まで知識の定着がなされ、理解がされているかを計測する点での課題はあるものの、話し合いも自然に発生し、更に深い内容まで取り組もうとする児童も見られた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

敦賀市立敦賀南小学校(福井県)

【取組内容②】 動画教材により、事前に情報を取得し、授業でJamboardで情報を共同で整理する学習

6年社会科において、動画教材を活用した反転学習を試みた。Classroomで配信した「動画教材」を、本時まで家庭学習等で視聴するように指示し、本時では、Jamboardで「動画教材」から得た情報を整理し、それぞれの時代を班ごとにまとめる学習を行った。

Classroomで動画を配信



事前に動画教材を視聴させておいた効果

社会科では、教師が黒板の前に立ち、同一内容の情報を一斉に伝達する授業がほとんどであった。学習者である児童は、情報を受動的に受け取るため、聞いてはいてもその内容を理解できないことも多い。**動画教材を事前に視聴させることは、①情報を主体的に整理するため理解しやすい ②繰り返し視聴が可能なので自分のペースで情報を受け取ることができる ③事前に学習内容をある程度理解しておく、その後の共同の作業がしやすい**等の効果があると思われる。

Jamboardでの協働学習においても、各自が手に入れた情報を共有する場面が多く見られ、下記のJamboardのように、わかりやすく整理し、事象の関係について話し合いながら考える児童が多く見られた。

児童が班ごとにまとめたJamボード



水稲が始まった後の生活の変化を動画を視聴し付箋で整理している



動画から取得した情報を付箋に書き出し、他者と情報共有しながら関連付けている

リーディングDXスクール事業【実践事例】

敦賀市立敦賀南小学校(福井県)

【取組内容③】 デジタルドリルの常態化と家庭用「タブレット端末活用のでびき」による家庭教育力の向上

今年度、従来の紙媒体のドリル等の購入を減らし、デジタルドリルの課題配信を中心とした家庭学習へと移行を始めている。本市、本校では、2社のデジタルドリルを保護者負担により導入している。

担任が授業進度に合わせてドリルを配信

取り組み具合を全体で集計・閲覧

児童が課題を自由に選び進んで取り組む

デジタルドリルは、配信・提出・回収の手間が減るだけでなく、従来の「〇付け」「チェック」に費やしていた労力を、**定着具合の確認や取り組み方への個別指導に充てる**ことができる。今までは、「やったか、やってないか」ばかりに目が向いていたが、**苦手な単元、苦手な学習内容を個別に把握**することができている。また、取り組む課題を自分で選べるようにすることで、今まで先に進めることを我慢させていた児童や、過去の学習内容に立ち戻って取り組むことも可能になった。

課題は、「①教員がこれらの集計データを効果的に活用することができていない ②効果的なドリルの取組みせ方がまだ不明 ③教員間で取組みせ方に差がある」ことである。

家庭でタブレットの使い方を話し合い、ネット依存症・SNS等のネットトラブルの問題について、**家庭の責任を自覚**する。

タブレット端末活用のイメージ

タブレットで学習するときの5つのやくそく

- タブレットを使うときは姿勢よくしよう
- 30分に1回はタブレットから目を離そう
- 寝る前はタブレットを使わないようにしよう
- 自分の自や体を大切にしよう
- ルールを決めて使おう

家庭でのルールを決めよう

＜家庭でのルールについて＞

□ タブレットを使う時間

□ 使う場所

□ 使わないときの置き場所

□ わがやの絶対ルール

わたがやのタブレットルール

「南の子タブレット端末活用の手引き」を作成

令和4年夏より、**学習用端末の常時持ち帰り**を実施している。担任や保護者からは、学習用端末活用についての懸念の声があったため、家庭向けに「学習用端末の手引き」を作成、配布を行った。保護者に「端末活用のねらいや注意点」を周知し、「**家庭での学習用端末における責任の自覚**」を促すためである。今年度も修正を行い、再配信を行った。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

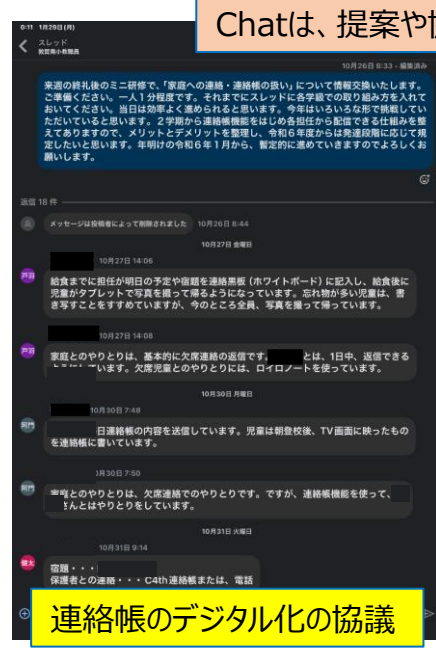
敦賀市立敦賀南小学校(福井県)

【取組内容④】 Google Classroom及びGoogle Chatを使って効率的に協議ができる会議を実施

今年度、月1回の職員会議時間の短縮および不要な会議を廃止するために、従来の会議での協議事項をGoogle Workspaceで可能な限り行う方法を取った。まず、決定していない協議・提案事項は「Google Chat」で行い、スレッド機能をつかって協議を行った。決定事項や連絡事項は、「Google Classroom」のストリーミングを掲示板代わりに使用するようにした。

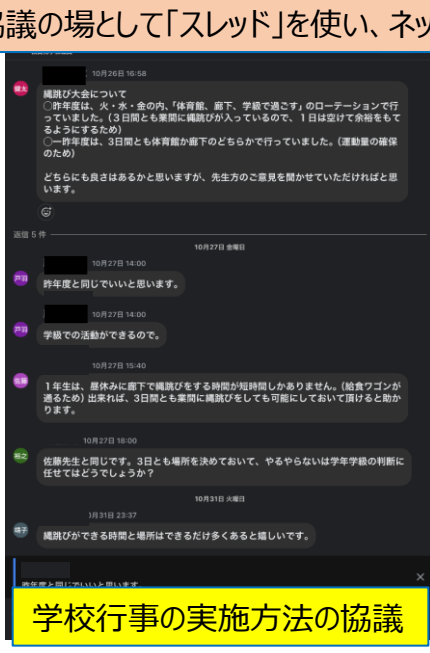


Classroomは
決定事項の周知に使用

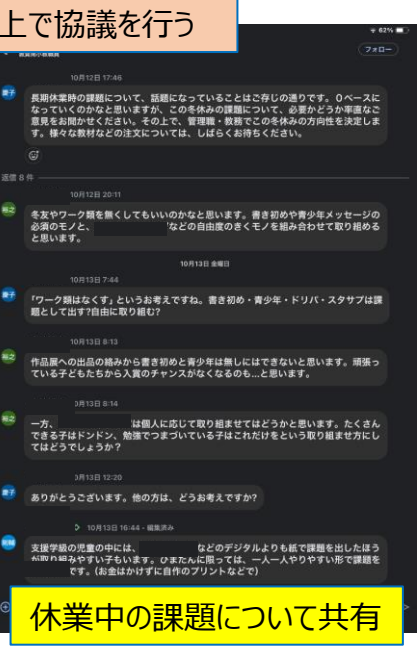


Chatは、提案や協議の場として「スレッド」を使い、ネット上で協議を行う

連絡帳のデジタル化の協議



学校行事の実施方法の協議



休業中の課題について共有

従来の対面型の会議は、お互いの熱量を感じやすいというメリットはある。しかし、ベテラン教師や、過年度在籍する先輩教師が一声あげると、反対意見は出しにくくなるデメリットがある。特に若手教師や新年度赴任した教師は、新たな意見を出すことに躊躇したり、「前年度までうまくいっていたから」の一言で、新たな提案が押しつぶされてしまう。そこで、Google Workspaceの機能を使うことにより、**どの教師も平等に意見を出しやすいフィールドを確保**できると考えた。

結果として、例年だとベテラン教師主導で従来通りのままで実施されていた教育活動に、**新しい視点で提案を投げかける若手教員が増えた**。学校行事を目的に立ち戻り、根本的に見直したり、担任が互いの連絡帳や家庭学習のやり方を紹介しながら、必要性や教育効果を改めて考えるなど、**従来の「当たり前」を変えていく流れ**が生まれてきている。また、音声での話し合いは、個人の発言力の違いやその場の雰囲気により、発言しにくさを生み出し、公平な協議の妨げになることが多い。しかし、**チャット上では平等に「発言」でき、「協議 = 記録」が同時に行われること**により、各自が責任を持って「発言」するようになったと感じている。当然、**働き方改革が進み、勤務時間の短縮にも効果があった**。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

敦賀市立敦賀南小学校(福井県)

【取組内容④】 GoogleClassroom及びJamboardを使った対話的・協働的な会議、研修を実施

研究の協議、研修は、ClassroomとJamboardを積極的に使用した。Classroomにより、会議や研修のアジェンダや資料を予め配信。貴重な協議の時間においては、Jamboardを活用し、話し合いの見える化、共有可を図り、対話的・協働的な会議や研修のあり方を模索した。

Classroomで協議の流れや資料を配信



Jamboardを使って、話し合う



目指したのは、児童に対話的・協働的な授業を提供するために、**教師自らが普段から汎用アプリを活用した話し合いができるようにしておくこと**である。GoogleWorkspaceの機能やJamboardを使うことにより、児童への授業の際の**注意点や配慮事項、効果的な活用方法を、自ら体験することから理解することが進んでいる**。さらに、「話し合い＝記録」となるため、いつでも**振り返ることができる**。参加できなかった教師も協議の内容を理解することにも役立った。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

敦賀市立敦賀南小学校(福井県)

【取組内容④】 GoogleClassroom及び動画を使ったオンデマンド研修を充実

教師は、研究と修養に努め、日々学び続ける必要がある。しかし、その時間の確保が、現場では一番の問題である。コロナ禍以降、オンラインおよびオンデマンドの研修が一般化され、教師の学び方も今までの集合型研修から大きく変化してきた。この流れを常態化し、児童同様、教師も学び方を変えるために、オンデマンド型の校内研修により、研修の充実を試みた。

教師も主体的に学び続ける

児童の学び方を変えるために、**教師自らが新しい学び方による研修形態**を取り入れた。

特に、「令和の日本型学校教育」や「第4期教育振興基本計画」など、国の教育行政の情報については、現場の教師は「なんとなく」理解しているに過ぎない。しかも受動的な研修では、授業改善、指導改善を自分事として捉えられない。そこで、これから実施すべき授業同様、**動画やスライド等の資料を一つのパッケージとして提供する形の研修**を行った。

効果的であると思われること

- 研修に対して**能動的**に取り組める
- **良質の動画やスライド**により、理解がしやすい
- **自分のペース**で取り組み、**繰り返し**学べる

今後の課題となること

- **達成度**を測定する方法が**曖昧**である
- **勤務時間外**の研修を促すことにもなりかねず、**結果的に負担感**を感じさせる
- 研修後の**フィードバック**や**話し合いの場の設定**が必要であり、時間の確保が難しい。

Classroomを使い、時間のかかる研修をオンデマンド研修へ移行



文科省動画の活用

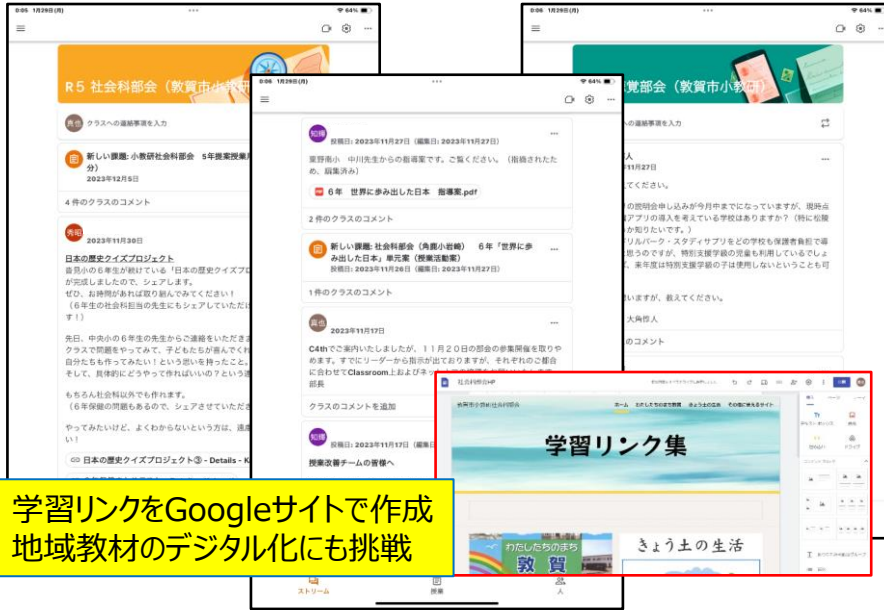
リーディングDXスクール事業【実践事例】

敦賀市立敦賀南小学校(福井県)

【取組内容⑤】「その他」GoogleClassroomを他校とのつながりのツールとして使用し学校を超えた研修を実施

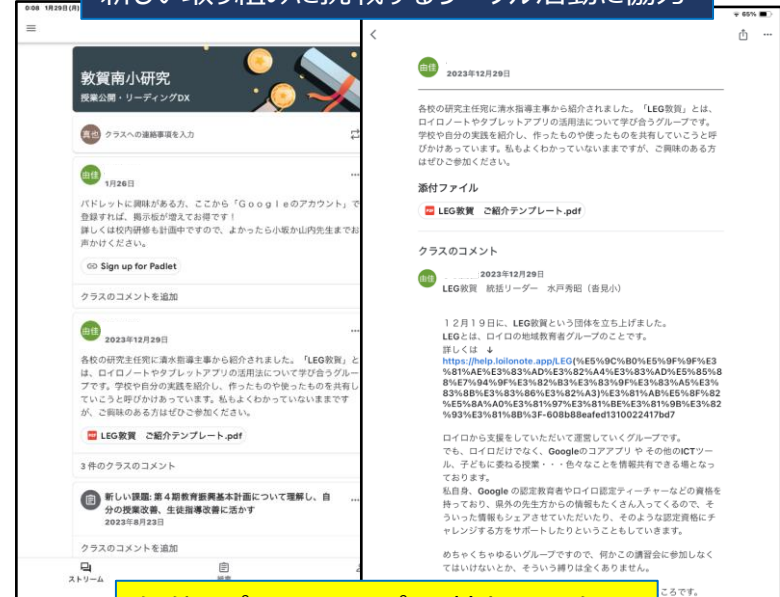
本事業の展開において、校内のみで取り組むことに限界を感じたことが多々あった。それは、**キャリア、年齢層の違いによるモチベーションの差**が大きかったからである。特に若手教員が少ない学校においては、相談する相手も少なく、新しいことに取り組もうとしても難しい側面があった。そこで、本市は、市内小中間がGoogleWorkspaceでつながっていることを利用し、**学校間を超えた「Classroom」「Googleチャット」を設定し、共有の「GoogleDrive」**により、互いに学び合える環境づくりを進めた。

小中学校教育研究会のClassroom



学習リンクをGoogleサイトで作成
地域教材のデジタル化にも挑戦

新しい取り組みに挑戦するサークル活動に協力



無償アプリや汎用アプリの情報を共有

敦賀市小学校教育研究会社会科部会では以下のことに取り組んだ。

- ①授業公開情報をオンラインで共有
- ②地域教材の紙媒体の副読本のデジタル化に着手「Googleサイト」
- ③学習リンク、教材、授業で使えるクイズをクラウド上で共同作成

汎用アプリと共有クラウドの利用により、**学校間を超えた共同作業**がたやすくなった。これらの協働により、互いの負担を減らしながらも、**新しいことに取り組む若手・中堅教員が増えている**。

本市内の他校教員の「**Google認定資格**」、各種学習支援アプリ等の認定資格保有者を中心に、**タブレット端末活用や授業研究を目的としてサークル**が起ち上がった。本校においても研究主任が呼びかけ、サークルへの参加を促し活動に協力している。特にJamboard廃止に伴い、児童の「**主体的・対話的で深い学び**」を支援するための**次期無償アプリの情報をやりとり**したり、すでに**全国的に効果が実証されている無償アプリの活用方法**について互いに研修会を実施している。